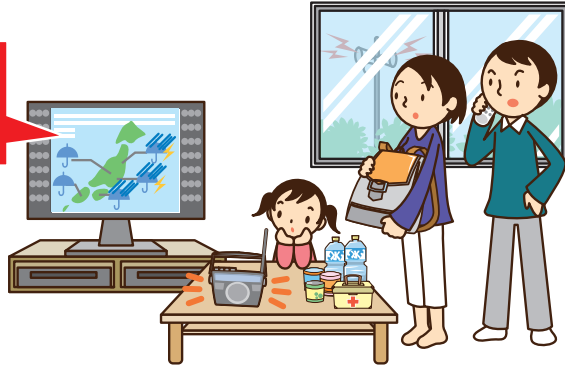


気象警報・注意報等の種類

大雨や台風はわたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。
 ふだんから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

まずは、
 確実な情報が大事!
 その次に迅速な対応!



大雨情報をキャッチ!
こんなときの
わが家の安全対策

大雨情報をキャッチしたら、
 わが家で安全対策を始めましょう。

大雨・洪水に関わる注意報・警報の発表基準

現象の種類	説明	発表基準(栄村の場合)
大雨	注意報	大雨による災害が発生するおそれがあると予想される場合に発表 1時間降水量 40mm
	警報	大雨による重大な災害が発生する恐れがあると予想される場合に発表 1時間降水量 70mm
	記録的短時間大雨情報	大雨警報発表時に、現在の降雨がその地域にとって災害の発生につながるような、まれにしか観測できない雨量であることをお知らせするために発表 1時間降水量 100mm
	特別警報	台風や集中豪雨により数十年に一度の大雨、又は数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧による大雨が予想される場合に発表 48時間降水量 245mm 3時間降水量 98mm
洪水	注意報	大雨、長雨、融雪などにより河川が増水し、災害が発生するおそれがあると予想される場合に発表 1時間降水量 40mm
	警報	大雨、長雨、融雪などにより河川が増水し、重大な災害が発生するおそれがあると予想される場合に発表 1時間降水量 70mm
土砂災害警戒情報	大雨警報発令中に、大雨による土砂災害発生の危険度が高まった時に、長野県と長野地方気象台が共同で発表する情報	

※注意報とは、災害が起こるおそれのあるときに注意を呼びかけて行う予報であり、警報とは、重大な災害が起こるおそれのあるときに警戒を呼びかけて行う予報です。平成25年8月30日から運用が始まった『特別警報』はただちに命を守る行動が必要な最大限の呼び掛けです。

雨の強さと降り方

1時間雨量	予報用語	人の受けるイメージ	災害発生状況
10~20mm	やや強い雨	ザーザーと降る	この程度の雨でも長く続くときは注意が必要。
20~30mm	強い雨	どしゃ降り	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模の崖崩れが始まる。
30~50mm	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る	山崩れ・崖崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。
50~80mm	非常に激しい雨	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。
80mm~	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある恐怖を感じる	雨による大規模な災害が発生するおそれが強く、嚴重な警戒が必要。